

lecture of haborogy
はぼろ学講座

あなたはどれだけ
はぼろのことを知っていますか？

第3回

はぼろ学講座は「羽幌の成り立ち、自然・動植物、生活・文化を総合的に学び、羽幌町を訪れるお客様にまちを紹介出来る人材を育成すること」を目指しています

焼尻めん羊は
プレサレにも
劣りません

堅田洋道さん



大好評のはぼろ学講座、
みなさんお気軽に参加ください

大好評のはぼろ学講座、7月までの開催は、いずれも会場は満席に近い状態で、受講生以外の方の参加も増えつつあります。みなさんも一度参加してみてくださいですか？

7月13日に開催された第5回目のはぼろ学講座は「焼尻めん羊の歴史」ということで、元役場職員で焼尻めん羊の育ての親である堅田洋道さんをお招きしました。

命がけで守った羊たち

講義はめん羊牧場の牧歌的な風景をプロジェクトで映しながら進みました。

昭和42年にオーストラリアからサフォークめん羊160頭を運ぶため、貨物船の甲板に仮設小屋を作り運んだときの話では、日本に到着して下ろしたときには子どもが生まれ167頭に増えてしまい税関で苦労したり、上陸直前に

3日間台風と遭遇しロープを体に巻いて命がけで見回りをしたそうです。

また、昭和46年にマンガ雑誌「少女フレンド」の読みきり漫画の主人公として堅田さんが描かれ、その漫画を見た若者が焼尻めん羊牧場に憧れて住み込みのアルバイトに来た話や、都内の高級フレンチレストランで高く評価されているという雑誌記事の紹介、このように全国的に高品質な肉質が認められ大変人気のある焼尻めん羊も、当初は売り先に困った話など、約1時間にはわたり様々なエピソードが紹介されました。

少女フレンド誌の読みきり漫画の作画資料として焼尻島で撮影が行われたそうです。その中でも、これは若き日の堅田さんと羊がたわむれる貴重な1枚。羊の顔が黒くないのは、この頃、サフォーク種以外にコリデール種も飼育されていたためです。



おしどり夫婦のおしどりは
実は一夫多妻制

7月27日の第6回目は「留萌の自然」をテーマに、羽幌小学校の小山校長先生を講師にお招きしました。ながく日本野鳥の会の会員でもあった小山さん。新任時代から自らのカメラで撮り貯めてきたという留萌管内の鳥、昆虫、動植物が写った約150枚のスライドを使いながら、ユーモアや専門的な話を交えつつ講義はテンポ良く進行了ました。中でも、興味深いお話として

「にしんぐもりの海空」という季節から「オオセグロカモメであると推測される」という結論が導き出され、会場からは驚きの声。また、仲睦まじい夫婦を例えて「おしどり夫婦」と呼ばれるが、実はおしどりという鳥は一夫多妻制。仲の良いフ

留萌管内は、
本当に自然が
豊富です。



小山哲生さん

りをして別の彼女がたくさんいるといったエピソードや、シロツメクサの「ツメクサ」とは、「物が壊れないように緩衝材として箱の中に詰められた」という語源の話、エゾエンゴサクのおひたしやエゾカンゾウの花の甘酢漬けの作り方も紹介されました。

途中、スライドを元に、「留萌管内の生き物クイズ」が出題され、受講生は真剣に取り組んでいました。

どなたでも聴講できますので、受講生でない方もお気軽にご参加ください。

Q はぼろ学クイズ

羽幌小学校の校歌の中で、「♪沖のかもめのなくこえも～」という歌詞がありますが、このかもめの種類は何でしょうか？

- ① ウミネコ
- ② オオセグロカモメ
- ③ オロロン鳥

正解は本文の中にあります



はぼろ学講座のお問い合わせは、町民課までご連絡ください。
☎ 0164-62-1211(内線105)
✉ choumin@town.haboro.hokkaido.jp